

農業者年金加入者の皆様へ

令和 6 年 6 月
(独) 農業者年金基金

皆様には、日頃より、農業者年金の運営にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

農業者年金の新制度では、年金裁定の際に、それまで皆様が納めた保険料とその運用収入の合計額（年金原資）に基づいて年金額を計算しますが、年金裁定までの間は、毎年3月末現在での年金原資の積み立て状況を農業者年金基金から皆様に直接お知らせしております。

今回のお知らせは、令和5年4月から令和6年3月までの1年間の農業者年金の運用結果と、加入されてから令和6年3月までの皆様が納めた保険料とその運用収入の積み立て状況をお知らせするものです。

（なお、旧制度に関する内容はこのお知らせには含まれておりません）

基金では、皆様からお預かりした保険料やその運用収入について、国内外の債券や株式への分散投資を行っております。令和5年度の運用につきましては、9.85%の運用実績となりました。皆様への付利額につきましては、同封の「令和5年度 運用（付利）結果のお知らせ」をご確認下さい。

当基金が行っております年金資産の運用については、金融・経済情勢等の運用環境の影響により、短期的には、運用成績がプラスになる年やマイナスになる年がありますが、長期的な運用により安定した運用収益を上げることが期待されています。

今後とも安全で効率的な運用を基本とし、基金の役職員一同、一層尽力して参りますので、皆様のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

自然災害等により被害を受けられた場合

台風、豪雨及び地震などの自然災害が毎年発生しており、被害を受けられた皆様には心よりお見舞い申し上げます。

皆様とご家族の一刻も早い生活の再建を支援するため、被害を受けられた場合の農業者年金業務の取扱いについてお知らせします。

ホームページアドレス <https://www.nounen.go.jp>



令和5年度の農業者年金の運用状況について

資産運用の実績

皆様からお預かりした保険料や国庫補助金等の資産を運用した結果、加入者の皆様の資産を運用している「被保険者ポートフォリオ」の令和5年度の運用収入は約260.3億円、収益率は9.85%、令和5年度末の時価総額は約2,953億円となりました。



令和5年度の資産運用実績

単位: 百万円

資 産	運用収入	収益率 (注1)	時価総額
国内債券	-1,739	-1.24%	138,188
国内株式	13,580	40.57%	45,915
外国債券 (注2)	-111	-0.23%	55,847
外国株式	15,205	41.30%	50,805
短期資産 (注3)	-908	-	4,516
合 計 (注4)	26,026	9.85%	295,273

- (注1) 収益率は、期間中に発生した利息や配当収入、債券・株式の売買及び株価変動等による損益を含めた収益率（修正総合利回り）です。
- (注2) 外国債券の運用収入には、外国債券の購入費の為替変動による変動額を計上していません。
- (注3) 短期資産の運用収入には、外国債券の購入費の為替変動による変動額や運用受託機関に対する信託報酬等を計上しています。
- (注4) 四捨五入の関係で合計欄の数値が合わない場合があります。

<農業者年金の直近10年間の運用利回り>

単位: %

年度		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
資 産	国内債券	2.16	3.41	-0.25	0.84	1.39	0.24	-0.16	-0.68	-0.95	-1.24
	国内株式	30.30	-10.65	14.81	18.99	-4.39	-9.19	41.41	1.78	5.66	40.57
	外国債券	11.98	-2.75	-5.08	4.21	3.29	7.25	-2.10	-5.25	-8.88	-0.23
	外国株式	23.15	-8.46	14.41	10.95	9.81	-12.27	59.35	21.61	2.31	41.30
全体		8.78	-0.69	3.26	4.75	1.71	-2.08	10.82	2.39	-1.08	9.85

※直近10年間の運用利回りの平均は、年率3.68%です。
なお、新制度発足以降の22年間の運用利回りの平均は、年率3.05%です。

令和5年度の付利について

運用の結果得られる収入等を、加入者の皆様一人ひとりに配分することを「付利」といいます。

令和5年度末の付利では、以下の図のように、運用収入（約260億2千6百万円）から制度的に必要な額（約35億8千1百万円）を引いて付利原資（約224億4千5百万円）を求め、これを加入者の皆様ごとの運用額・運用期間に応じて配分します。

運用収入 約260億2千6百万円

運用収入からの控除等 ー約35億8千1百万円

- ・前納保険料割引額 ー約2百万円
- ・裁定者への付利額 ー約5千5百万円
- ・準備金繰入額 ー約34億5千9百万円
- ・その他加算・控除等 ー約6千5百万円

付利原資 約224億4千5百万円

加入者ごとの運用額・運用期間に応じて
付利原資を配分

令和5年度付利利率 **8.75%**

加入者ごとの付利額(付利通知に記載)

直近10年間の付利利率の推移

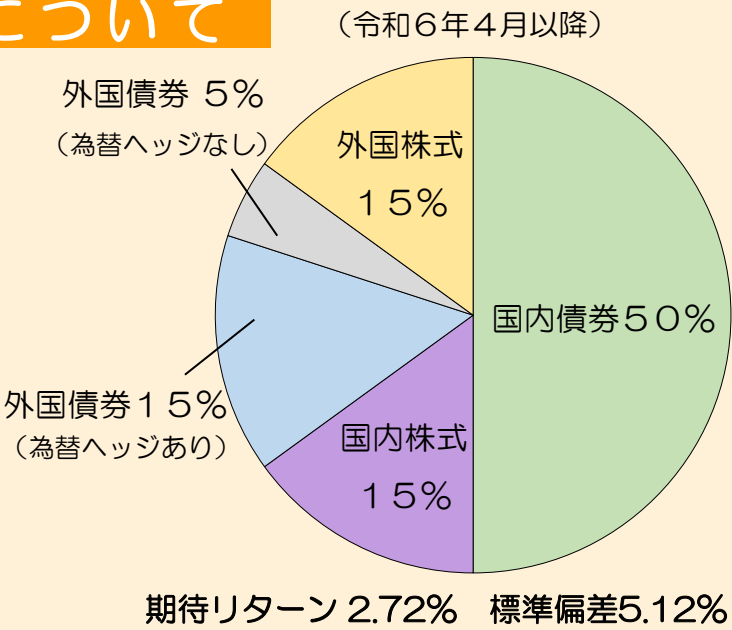
年 度	付利利率
平成26年度	8.03%
平成27年度	－0.76%
平成28年度	2.98%
平成29年度	4.42%
平成30年度	1.63%
令和元年度	－2.22%
令和2年度	9.81%
令和3年度	2.22%
令和4年度	0.00%
令和5年度	8.75%

※令和4年度においては準備金から補てんを行っております。

令和6年度からの運用について

「被保険者ポートフォリオ」の資産構成の割合（政策アセットミクス）を、右の円グラフのとおり令和6年4月から変更しました。この変更により、物価上昇に対応するとともに、引き続き安定的に資産運用を行ってまいります。

詳しくは、同封の「皆様からのご質問にお答えします」をご覧ください。



専門家のご意見

米国景気の底堅さが意識されるなか、米国の金融引締めが長期化するとの見方が続いたことから、10月にかけて内外の債券利回りは上昇しました。その後、米国でインフレが弱まる兆候がみられると、11月から年末にかけて内外の債券利回りは一時低下しましたが、年度を通じては利回りが上昇（債券価格は下落）して期末を迎えました。内外株式は、AI（人工知能）関連需要の高まりで業績アップが期待される大型ハイテク企業の株価上昇が市場全体をけん引する形で、概ね年度を通じて上昇が続きしました。

農業者年金基金の資産運用は安全性を重視して、被保険者のためのポートフォリオでは、債券の保有比率を高め、比較的リスクの高い株式等にも分散投資されています。債券と株式を組み合わせた運用を行う理由は、収益が上下に振れるタイミングが違う投資対象を組み合わせることで、資産全体で長期的に安定した運用収益が得られると期待されるからです。農業者年金基金の資産運用は、制度の特性を勘案して策定された運用方針に基づき適切な運用が行われており、安全性と収益性のバランスを考慮しつつ、市場環境の変化に即した資産運用が実践されているということが出来ます。

みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社 年金コンサルティング部

主席コンサルタント 川名 巨樹

みなさまへのお願い

農業者年金制度は、農業者なら広く加入できること、終身年金であること、税制上の優遇措置などメリットも多い制度です。

ご家族やご近所などの加入資格のある方で、まだ加入されていない方がいらっしゃいましたら、ぜひ加入を勧めていただきますようお願いいたします。

このパンフレットや付利結果のお知らせについてのお問合せは下記にお願いします。
なお、資金の運用の状況につきましては、このパンフレットでお知らせするほか、四半期ごとに農業者年金基金のホームページで公表しております。

独立行政法人 農業者年金基金 〒105-8010 東京都港区西新橋1-6-21

03-3502-3898（資金部 企画課）

03-3502-3199（専門相談員）

03-3502-3946（業務部 適用・収納課）

ホームページアドレス <https://www.nounen.go.jp>

※当基金の事務所は、令和6年11月に移転予定ですので、詳しくはHPをご覧ください。

